

令和3年度

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

事業計画及び収支予算書

公益財団法人 高知市文化振興事業団

目 次

■事業計画

はじめに	1
I 基本方針	1
II 事業計画	
1 自主文化事業計画	3
(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」	
(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」	
(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」	
(4) 目標4 すそ野を拓げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」	
(5) 情報発信等	
2 第73回高知市文化祭事業計画	5
(1) 活動支援事業	
(2) 高知市展	
3 中央公民館事業計画	5
(1) 生涯学習講座事業	
(2) 第70回高知市夏季大学	
(3) 貸室事業	
4 横山隆一記念まんが館事業計画	7
(1) 企画展	
(2) 第17回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連記念事業	
(3) まんさいーこうちまんがフェスティバル2021	
(4) まんが体験イベント	
(5) 学校教員向けの施設利用案内事業	
(6) 高知お城下文化施設の会・こうちミュージアムネットワークへの参加	
(7) 資料整理事業	
(8) その他	

■収支予算書

●収支予算書	9
(1) 収支予算書	
(2) 収支予算内訳表	
(3) 資金調達及び設備投資の見込み	
(4) 資金収支予算書	

令和3年度事業計画

はじめに

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、市民による芸術・文化の創造活動の日常化や文化の時代にふさわしい高知の文化活動の活性化を目指し、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぽーと開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担っている。

この間、芸術・文化を取り巻く状況が大きく変化したことから、平成26年に事業団設立30周年を迎えたことを契機として、新たな事業推進指針を定め、「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を基本理念と定めた。

令和3年度は、この基本理念を踏まえた上で高知市文化振興ビジョンとの整合性を図りつつ、次の基本方針に基づいて自主文化事業、文化祭事業、中央公民館事業及びまんが館事業の効果的な展開を図るものとする。

これらの事業の実施に当たっては、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの文化・芸術事業や生涯学習活動が停滞を余儀なくされ、未だ終息の目処が立たない状況であることから、昨年夏に事業団独自で策定した各種の新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿って、ウイズコロナの時代の事業展開のあり方を慎重に判断し、事業の開催時点の状況に応じて、ガイドラインの改訂や必要な感染予防策を講じるものとする。

I 基本方針

1 自主文化事業

事業推進指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、4つの目標(3～4P参照)に沿って事業を実施し、市民が誇りを持って日常的に芸術・文化の創造活動に向き合える土壌づくりに取り組む。

各事業の実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染状況に応じてガイドラインに則ったうえで、「芸術文化体験や創造活動によるまちづくりや地域づくり」も視野に入れるなど、高知市文化振興ビジョンとの整合を図ることとし、学校や地域などへのアウトリーチ活動やワークショップ活動の一層の充実を図るとともに、事業団ならではのネットワークを活かして市民や学校教育との協働・連携を積極的に進める。

2 文化祭事業

各種文化団体や幅広い世代の市民に向けて作品発表や公演機会を提供し、コロナ禍における市民による文化活動を支援するとともに、困難な状況下にあっても芸術文化の鑑賞の機会を創造し、高知市文化祭の一層の充実と振興を図る。

3 中央公民館事業

中央公民館の運営による多彩な生涯学習活動の場を提供することを通じて、市民による自発的な地域の活性化に結び付く取組を進める。

各種の生涯学習講座については、近年漸減傾向にある受講者数に歯止めをかけるために、市民の学習意欲の調査を進めるべくアンケートの実施を継続するほか、コロナ禍においては実施が困難な講座・科目がある中で、感染状況を考慮した事業運営に努め、市民が安心して中央公民館に足を運ぼうと思える魅力のある講座や科目を提供できるように、取組を進めていく。

各種学習室の貸室については、コロナ禍により『貸室利用促進プラン』に基づいた稼働率の向上への取組が難しい状況にある。利用者に安全に貸室を利用してもらうよう策定されたガイドラインに沿って運用を行っていく。

4 まんが館事業

まんが館事業については、平成30年度末に策定した「横山隆一記念まんが館活性化計画～『高知市文化振興ビジョン』の改訂を契機として～」を基本としながら、令和3年度は高知市から要望のあった学校教育と連携した活動の在り方を探っていく他、令和4年度の休館に備え、収蔵資料の全データ入力を目指した作業を進める。また、テレビ局などとの共催による企画展を開催する。

こうした取組を通じて、高知県や民間団体と協働してまんが文化の活性化を進め、「まんが王国土佐」の確立・強化に努める。

Ⅱ 事業計画

1 自主文化事業計画

各事業の実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染状況に応じてガイドラインに則ったうえで、高知市文化振興ビジョンの「文化振興の具体的な進め方」との関連性を図りながら、事業推進指針に掲げた基本理念を実現するための次の4つの目標に基づき、話題性や多様性のあるプログラムの提供を行っていく。

(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

市民や関係団体などの協働と連携によって、そのパートナーの活動を尊重しながらサポートし合い、「文化の協働と連携」を推進するとともに、創造活動を通じて子ども達から幅広い世代へ社会参加を促す事業を実施する。

Let's 50!! みんなあつまれ ～高知市こども劇場50周年記念フェスティバル～	3. 5. 1(土)・2(日)
高知市こども劇場50周年記念事業。ギャラリー全フロアを使用して「みる」「あそぶ」「まなぶ」「たべる」「つながる」のコーナーを作り多くのWSを2日間にわたって実施。大ホールでは、親子で楽しめるサーカス公演を5月2日に実施。共催：高知市こども劇場	
とさつ子タウン2021	3. 8. 21(土)・22(日)
とさつ子タウン実行委員会との協働事業。小学4年生から中学3年生を対象に仮想のまちで仕事を覚え、働き、学び、楽しみながら政治参加や納税などの社会の仕組みを学ぶプログラム。 共催：とさつ子タウン実行委員会・NPO高知市民会議・高知市市民活動サポートセンター	
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭	3. 9. 19(日)
市民音楽の活性化と中心市街地活性化等を目的に開催する県下最大規模の音楽イベント。県内外から約120組が参加、市内約10箇所で開催する1日限りの手作り音楽祭。 主催：高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会	

(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

地域の「幸福度」は足元の豊かさに気づき高められることから、高知に紡がれてきた美術、映像、まんが、文芸作品などの有形、無形の文化資産を継承するとともに、高知ならではの文化を創造し発信するため、地域や中央で活躍するアーティストとともに作品を創り上げる事業等を実施する。

Kochi Art Messe Vol.4	4. 1. 20(木)～26(水)
若手作家の公募作品の展示と販売を行う美術の「見本市」のような企画展。作家を紹介する場であり、美術の楽しみ方を提案する場でもある。そうした機会を提供することによって、若手作家の意欲を高め成長につなげるとともに、美術ファンを増やす取組として、高知の美術活性化を目指す。	
アーティストバンク	通年
地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報などを広く発信することで、市民とアーティストをつなぐとともに、アーティストの活動を支援する役割も果たす。	

(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

文化に親しむきっかけづくりとしての事業や、新たな鑑賞者の育成、芸術文化活動の担い手を育てるための人材育成事業を実施する。

to R mansion「The Show」	3. 12. 5(日)
大道芸をベースに世代・国籍関係なく楽しめる舞台を制作している to R mansion による公演。首なし男やとんがり頭のピエロ、風船のように膨らんだお喋りマダムなど、奇想天外なキャラクター達が繰り広げる笑いときらびのフィジカルパフォーマンス。 共催：薬工ミュージアム	

第10回高知の音楽活性化事業 「アーバンサクソフォンカルテット コンサート」	3. 12. 18(土)
アーティストが高知に数日間滞在し、ホールでのコンサートと地域交流プログラム(アウトリーチ)を行う。リラックスした雰囲気の中で音楽を楽しんでもらい、舞台と客席との関係を越えたアーティストとの触れ合いが新鮮な感動をもたらす。今回は、地域創造登録アーティストで、サクソフォン四重奏団の「アーバンサクソフォンカルテット」が出演。 助成：(一財) 地域創造 公共ホール音楽活性化支援事業	
親子鑑賞プログラム	下半期(時期未定)
文化庁より、新型コロナウイルス感染症による影響で子供たちの実演芸術の鑑賞や体験機会が乏しくなっていることから、劇場等での子供たちの鑑賞・体験機会の拡充を図るよう通達があったため、時期は未定ながら、親子鑑賞プログラムを計画する予定。	

(4) 目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

さまざまな層の市民に対して優れた芸術・文化の鑑賞機会を幅広く提供し、鑑賞者を育成するとともに、芸術・文化を理解する市民のすそ野を広げる事業を実施する。

プラハ・チェロ・カルテット 日本ツアー高知公演	3. 6. 22(火)
プラハ音楽アカデミーで学んだ4人の凄腕たちによるユニークなチェロ四重奏団「プラハ・チェロ・カルテット」。オフィシャル動画「オペラ座の怪人」は、YouTube再生回数が2,500万回を超える人気ぶり。クラシックの定番からジャズ、ポップス、映画音楽に至るまで多数のレパートリーを持っている。	
フロリアン・ゼレール作「Le Fils 息子」	3. 9. 22(水)・23(木・祝)
思春期の絶望と不安を描きながら、作者が全ての子どもを持つ親へ問いかける。その愛情は、あなたの子どもの救済に十分ですか？と。「Le Pere 父」に続き、フランス人のフロリアン・ゼレールとラディスラス・ショラーのタッグによる家族3部作の第2弾。豪華キャストでお届けする期待作。 助成：独立行政法人日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業(申請中)	
落語会	4. 3. 6(日)
笑点で紫の着物を着て腹黒ネタで人気の三遊亭円楽。俳優として数々の舞台やドラマで活躍している風間杜夫。年間600ほどの高座をこなし、寄席やホール落語会で人気沸騰中の桃月庵白酒。芸風の異なる3人の噺家による高知だけの特別な落語会。	

(5) 情報発信等

年間行事案内の発行、高知市広報『あかるいまち』や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事などを通して、かるぽーとや事業団の情報提供や文化事業の周知活動に努める。また、事業団のホームページや、フォロワーの増員を目指し時節に合った更新に努めているSNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラム)を通じ、インターネット上での発信をさらに強化し、サポーターズクラブ「Culちゃーず」の会員増を推進していく。

なお、機関誌「文化高知」は、事業団が設立された昭和59年に創刊以来現在まで220号にわたって隔月で発行してきたが、令和3年度の予算編成にあたって、季刊となることを余儀なくされた。

2 第73回高知市文化祭事業計画（受託事業）

市民文化の発展のために市民文化団体の自発的な活動がより活性化することを目的とし、各分野の市民文化団体との協働・連携を深めながら、以下の2事業に取り組む。

(1) 活動支援事業

高知市文化祭に参加するコンサートや舞踊、演劇、展示会等の様々なジャンルの文化行事の開催を支援するため助成金を交付する。令和3年度は、コロナ禍においても活動を続けようとする市民の文化活動への支援のため、新型コロナウイルス感染予防対策にかかる経費を助成対象経費に含める。

(2) 高知市展

市民ボランティアである100人を超える高知市展専門委員とともに、5月29日（土）から6月13日（日）の会期でアンデパンダン（公募・無審査）方式によって10部門の総合美術展を実施する。6月6日（日）には小中学生を対象とした体験型の美術イベントを関連行事として開催する。

展覧会の会期前・会期中に、出品者数・点数増や出品者の研鑽を目的とする各部門の講習会・研究会も多数行う。また、姉妹都市である北海道北見市との美術交流も予定している。

3 中央公民館事業計画（受託事業）

コロナ禍においても各種ガイドラインに則り、可能な限りこれまでの事業を継続しながら、円滑な事業推進や事業内容の質的向上に努める。

(1) 生涯学習講座事業

令和2年度に引き続き、中長期的な視点から講座等の参加者のニーズを探り、時代に即した生涯学習の場を提供していく。臆することなく試行錯誤を続け、新たなテーマや取組を市民に提案することによって参加者層の開拓に繋げていく。

また、高知市民の大学運営委員会との共催や、市民映画会運営委員会への委託を通じて、市民とともに育んできた中央公民館事業の更なる発展に努める。

講 座 名
市民学校（春・秋）
市民講座（秋冬）
いきいきセカンド☆ライフ講座（前後期各3コース）
高知市民の大学（89期・90期、各2コース）
市民映画会（2回）

(2) 第70回高知市夏季大学

7月13日（火）から7月24日（土）までの日・月曜日を除く10日間、政治・経済・世界情勢・文化等の幅広い分野の講師を招き、市民の関心や話題性が高いテーマから現代のさまざまな課題まで、市民に学び考える機会を提供する。

また、市民の安全を第一義に、感染症の予防策を含む新しい手法を取り入れた会場運営に努める。

(3) 貸室事業

各種学習室の貸室については、コロナ禍により『貸室利用促進プラン』に基づいた稼働率の向上への取組が難しい状況にある。このため学習室内での飲食の制限や利用人数を半数にする等を推奨するなど、感染予防策の徹底を優先して、利用者に安全に貸室を利用してもらうよう努める。

4 横山隆一記念まんが館事業計画(受託事業)

まんが館は、横山隆一の業績を広く顕彰するとともに、高知のまんが文化を継承することによって市民文化の振興に寄与することを目的としている。この目的を実現するため、本年度は収蔵資料の整理及び貸出展示や、テレビ局等との共催企画展他、様々なプログラムにより、市民がまんが文化に親しみ、知的・創造的な刺激を受ける場を提供するため、以下の事業を行う。

(1) 企画展

テレビ高知、高知さんさんテレビとの共催によりポップアートの展覧会や全国巡回のアニメ・イラスト原画展を開催する。

テレビ高知共催企画展 「酒井敦美 光の切り絵展～いつもはじまり～」	3. 4. 17(土)～ 7. 4(日)
令和2年度に、開催中止となった企画を実施する。 光の切り絵作家・酒井敦美の作品展。高知の自然をテーマに作られた作品や、光の当て方で1枚の絵が2つの表情に変化する「一画二驚～いちがにきょう～」という切り絵作品、光の絵の中に入って自分が作品の一部となる作品などを展示する。	
企画展 ※内容調整中	3. 7月～9月
高知さんさんテレビ共催企画展 「アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展」	3. 10. 8(金)～11. 28(日)
「ちびまる子ちゃん」は、1990年にアニメ放送が始まり、2020年、放送開始30周年となった国民的アニメである。 全国巡回展として、セル画、スケッチ画、絵コンテ、映像など約350点と、さくらももこの直筆脚本やキャラクター設定資料、プライベート作品なども展示する。	
テレビ高知共催企画展 「原田治展 かわいいの発見」(仮)	4. 1月～ 3月
1970年代後半から90年代にかけて、人気を博した「オサムグッズ」の生みの親、原田治。シンプルな描線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターたちは、その後の日本の“かわいい”文化に多大な影響を与えた。 2016年に亡くなった後、初の全国巡回展で、広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる作品を中心に展示する。	
「まんが・漫画・マンガ展! 2022」	4. 3月
高知漫画集団、高知漫画グループくじらの会など高知在住セミプロのまんが家グループを中心に、県内の学生など、地元でまんがを描いている人たちへの発表の機会を提供し、まんがの裾野をひろげ、各作家の地力向上を支援する。	

(2) 第17回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連記念事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから、全国でも珍しい4コマまんがに限定したまんが賞を平成17年度に創設。本年度で17回目の開催。まんが王国・土佐を広くアピールし、まんがの原点である4コマまんがの普及に努める。

作品募集	募集期間:3. 4. 9(金)～ 9. 7(火)予定
ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門での募集を行う。	
表彰式	3. 11. 6(土)あるいは7(日)
「まんさいーこうちまんがフェスティバル2021」で行う予定	
4コマまんが大賞作品の展示	3. 12月～
入賞作品や1次審査通過作品を「4コマまんが大賞作品展」として展示。	

(3) まんさいーこうちまんがフェスティバル2021

まんさいーこうちまんがフェスティバル2021	3.11. 6(土)・7(日)
市民参加型の実行委員会が中心となり企画・運営を行う「まんさいーこうちまんがフェスティバル2021」を開催する。11月3日の「まんがの日」にちなんで、子どもから大人まで、「みる・かく・あそぶ」をテーマとしたまんが・アニメの祭典で、今年で19回目となる。まんがグッズづくりや声優トークショーなど、さまざまなコーナーを展開。 また、高知市が定めた「まんさい」の事業目的「まんが文化を活用した中心市街地の活性化」を考慮し、中心商店街の活性化に寄与するイベントなども実施する。	

(4) まんが体験イベント

子どもたちにまんがに親しんでもらうため、まんがを用いて工作する機会を提供する体験イベントを実施。講師は地元まんが家などに依頼する他、館のスタッフが行う。

- ・夏休みまんが体験イベント 「めざせ！まんが職人」
- ・「プレ☆クリスマスイベント」4コマまんが作品展の観覧者を対象に、プレゼントグッズ等を作製
- ・放課後児童クラブに出向いてのまんが体験イベント

(5) 学校教員向けの施設利用案内事業

主に小・中・高校の教員に対して、横山隆一記念まんが館を知ってもらい、各教科の授業などに役立てる要素を提案する。まんが館への無料招待日の設定や、解説講座を実施する。

(6) 高知お城下文化施設の会・こうちミュージアムネットワークへの参加

高知市中心部の博物館・図書館等の文化施設が連携し、様々な事業を通じて、高知県・高知市の文化振興や観光振興に資する活動を行うお城下文化施設の会に参加。

また、県内の博物館施設などと連携し、各種事業を行うこうちミュージアムネットワークに参加し、幹事館としての割り当て業務を行う他、2022年に予定されている全国博物館大会への協力を行う。

(7) 資料整理事業

令和4年度の休館に向け、必要な資料整理などを行う。

(8) その他

- ① 館報「FUKU-FUKU」と、令和2年度年報の発行。
- ② ホームページ、高知市や事業団広報枠の活用及び各情報誌等での広報活動を行う。
- ③ ライブラリーの特設コーナーを時々話題に応じて企画・展開する。
- ④ 来館者増につながる観光イベントへの積極的な参加。
- ⑤ まんが文化に関する講演・講座依頼等への対応。
- ⑥ 学芸員実習生等の受け入れに適宜対応。
- ⑦ 他の自治体や博物館施設等への所蔵資料の貸出対応。

収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)
		当初(B)	補正後(C)	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	2,000	2,000	-1,000
基本財産運用利息	1,000	2,000	2,000	-1,000
事業収益	175,031,000	157,857,000	157,824,000	17,207,000
文化事業収益	18,758,000	12,201,000	12,168,000	6,590,000
文化事業収益	17,668,000	11,401,000	11,368,000	6,300,000
まんが館事業収益	790,000	410,000	410,000	380,000
会費収益	150,000	240,000	240,000	-90,000
出版物売払収益	150,000	150,000	150,000	0
文化事業受託収益	156,273,000	145,656,000	145,656,000	10,617,000
高知市文化祭事業受託収益	7,087,000	7,187,000	7,187,000	-100,000
中央公民館事業受託収益	53,762,000	53,327,000	53,327,000	435,000
まんが館事業受託収益	49,549,000	44,986,000	44,986,000	4,563,000
運営管理受託収益	45,875,000	40,156,000	40,156,000	5,719,000
受取補助金等	60,021,000	64,605,000	69,249,000	-9,228,000
受取地方公共団体補助金	59,351,000	57,965,000	57,965,000	1,386,000
財団管理運営補助金	4,916,000	5,054,000	5,054,000	-138,000
文化事業補助金	42,964,000	42,954,000	42,954,000	10,000
文化活動等助成事業補助金	8,771,000	9,957,000	9,957,000	-1,186,000
運営管理補助金(自動車購入)	2,700,000	0	0	2,700,000
受取民間助成金	670,000	6,640,000	6,640,000	-5,970,000
事業助成金	670,000	6,640,000	6,640,000	-5,970,000
受取国庫助成金	0	0	2,000,000	-2,000,000
国庫助成金	0	0	2,000,000	-2,000,000
受取地方助成金	0	0	2,644,000	-2,644,000
地方助成金	0	0	2,644,000	-2,644,000
受取寄付金	10,000	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0
雑収益	334,000	1,386,000	1,386,000	-1,052,000
雑収益	334,000	1,386,000	1,386,000	-1,052,000
運営管理事業雑収益	41,000	41,000	41,000	0
中央公民館実習材料販売等雑収益	230,000	1,282,000	1,282,000	-1,052,000
まんが館事業雑収益	63,000	63,000	63,000	0
経常収益計	235,397,000	223,860,000	228,471,000	6,926,000

収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)
		当初(B)	補正後(C)	
(2) 経常費用				
事業費	226,457,000	217,672,000	217,639,000	8,818,000
役員報酬	2,090,000	2,141,000	2,141,000	-51,000
給料	65,905,000	61,421,000	61,421,000	4,484,000
手当	38,933,000	36,088,000	36,088,000	2,845,000
賃金	0	0	0	0
福利厚生費	23,744,000	21,260,000	21,260,000	2,484,000
食糧費	795,000	643,000	638,000	157,000
旅費交通費	3,886,000	6,132,000	6,132,000	-2,246,000
通信運搬費	1,556,000	2,418,000	2,393,000	-837,000
減価償却費	260,000	423,000	423,000	-163,000
消耗什器備品費	0	0	0	0
消耗品費	3,169,000	3,393,000	3,391,000	-222,000
修繕費	206,000	206,000	206,000	0
印刷製本費	2,903,000	3,634,000	3,633,000	-730,000
燃料費	106,000	106,000	106,000	0
賃借料	9,289,000	7,233,000	7,233,000	2,056,000
広告宣伝費	1,340,000	1,239,000	1,239,000	101,000
保険料	474,000	408,000	408,000	66,000
委託費	39,998,000	37,054,000	37,054,000	2,944,000
諸謝金	13,267,000	17,397,000	17,397,000	-4,130,000
租税公課	9,170,000	9,025,000	9,025,000	145,000
負担金	8,862,000	6,756,000	6,756,000	2,106,000
雑費	504,000	695,000	695,000	-191,000
管理費	6,208,000	6,275,000	6,275,000	-67,000
役員報酬	3,057,000	3,241,000	3,241,000	-184,000
給料	610,000	571,000	571,000	39,000
手当	936,000	913,000	913,000	23,000
賃金	0	0	0	0
福利厚生費	1,048,000	1,046,000	1,046,000	2,000
食糧費	0	0	0	0
通信運搬費	60,000	60,000	60,000	0
減価償却費	2,000	0	0	2,000
消耗品費	69,000	69,000	69,000	0
修繕費	4,000	4,000	4,000	0
印刷製本費	13,000	12,000	12,000	1,000
燃料費	4,000	4,000	4,000	0
賃借料	128,000	65,000	65,000	63,000
広告宣伝費	0	0	0	0
保険料	93,000	100,000	100,000	-7,000
委託費	107,000	105,000	105,000	2,000
諸謝金	0	9,000	9,000	-9,000
租税公課	3,000	3,000	3,000	0
負担金	69,000	69,000	69,000	0
雑費	5,000	4,000	4,000	1,000
経常費用計	232,665,000	223,947,000	223,914,000	8,751,000
当期経常増減額	2,732,000	-87,000	4,557,000	-1,825,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,732,000	-87,000	4,557,000	-1,825,000
一般正味財産期首残高	43,824,312	43,809,333	43,809,333	14,979
一般正味財産期末残高	46,556,312	43,722,333	48,366,333	-1,810,021
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	56,556,312	53,722,333	58,366,333	-1,810,021

収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,000	1,000
基本財産受取利息	0	1,000	1,000
基本財産受取利息	0	1,000	1,000
事業収益	173,739,000	1,292,000	175,031,000
文化事業収益	17,790,000	968,000	18,758,000
文化事業収益	16,700,000	968,000	17,668,000
まんが館事業収益	790,000	0	790,000
会費収益	150,000	0	150,000
出版物売払収益	150,000	0	150,000
文化事業受託収益	155,949,000	324,000	156,273,000
高知市文化祭事業受託収益	7,087,000	0	7,087,000
中央公民館事業受託収益	53,762,000	0	53,762,000
まんが館事業受託収益	49,549,000	0	49,549,000
運営受託収益	45,551,000	324,000	45,875,000
受取補助金等	55,105,000	4,916,000	60,021,000
受取地方公共団体補助金	54,435,000	4,916,000	59,351,000
財団管理運営補助金	0	4,916,000	4,916,000
文化事業補助金	42,964,000	0	42,964,000
文化活動等助成事業補助金	8,771,000	0	8,771,000
運営管理補助金(自動車購入)	2,700,000	0	2,700,000
受取民間助成金	670,000	0	670,000
事業助成金	670,000	0	670,000
受取寄付金	0	10,000	10,000
文化事業寄付金	0	10,000	10,000
文化事業寄付金	0	10,000	10,000
雑収益	331,000	3,000	334,000
雑収益	331,000	3,000	334,000
運営事業雑収益	38,000	3,000	41,000
中央公民館実習材料販売等雑収益	230,000	0	230,000
まんが館事業雑収益	63,000	0	63,000
経常収益計	229,175,000	6,222,000	235,397,000

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	226,457,000	0	226,457,000
役員報酬	2,090,000	0	2,090,000
給料	65,905,000	0	65,905,000
手当	38,933,000	0	38,933,000
賃金	0	0	0
福利厚生費	23,744,000	0	23,744,000
食糧費	795,000	0	795,000
旅費交通費	3,886,000	0	3,886,000
通信運搬費	1,556,000	0	1,556,000
減価償却費	260,000	0	260,000
消耗品費	3,169,000	0	3,169,000
修繕費	206,000	0	206,000
印刷製本費	2,903,000	0	2,903,000
燃料費	106,000	0	106,000
賃借料	9,289,000	0	9,289,000
広告宣伝費	1,340,000	0	1,340,000
保険料	474,000	0	474,000
委託費	39,998,000	0	39,998,000
諸謝金	13,267,000	0	13,267,000
租税公課	9,170,000	0	9,170,000
負担金	8,862,000	0	8,862,000
雑費	504,000	0	504,000
管理費	0	6,208,000	6,208,000
役員報酬	0	3,057,000	3,057,000
給料	0	610,000	610,000
手当	0	936,000	936,000
賃金	0	0	0
福利厚生費	0	1,048,000	1,048,000
通信運搬費	0	60,000	60,000
減価償却費	0	2,000	2,000
消耗品費	0	69,000	69,000
修繕費	0	4,000	4,000
印刷製本費	0	13,000	13,000
燃料費	0	4,000	4,000
賃借料	0	128,000	128,000
広告宣伝費	0	0	0
保険料	0	93,000	93,000
委託費	0	107,000	107,000
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	3,000	3,000
負担金	0	69,000	69,000
雑費	0	5,000	5,000
経常費用計	226,457,000	6,208,000	232,665,000
当期経常増減額	2,718,000	14,000	2,732,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			2,732,000
一般正味財産期首残高			43,824,312
一般正味財産期末残高			46,556,312
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	10,000,000
III 正味財産期末残高			56,556,312

資金調達及び設備投資の見込みについて
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

期中に借入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以上

資金収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)	備 考
		当初(B)	補正後(C)		
1 基本財産運用収入	1,000	2,000	2,000	-1,000	
1 基本財産運用収入	1,000	2,000	2,000	-1,000	
1 基本財産利息	1,000	2,000	2,000	-1,000	
2 事業収入	175,131,000	157,957,000	157,924,000	17,207,000	
1 文化事業収入	18,758,000	12,201,000	12,168,000	6,590,000	
1 文化事業収入	17,668,000	11,401,000	11,368,000	6,300,000	
2 まんが館事業収入	790,000	410,000	410,000	380,000	
3 会費収入	150,000	240,000	240,000	-90,000	
4 出版物売払収入	150,000	150,000	150,000	0	
2 文化事業受託収入	156,373,000	145,756,000	145,756,000	10,617,000	
1 高知市文化祭事業受託収入	7,087,000	7,187,000	7,187,000	-100,000	
2 中央公民館事業受託収入	53,762,000	53,327,000	53,327,000	435,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	49,549,000	44,986,000	44,986,000	4,563,000	＼
4 運営受託収入	45,975,000	40,256,000	40,256,000	5,719,000	＼
3 補助金収入	60,021,000	64,605,000	69,249,000	-9,228,000	
1 地方公共団体補助金収入	59,351,000	57,965,000	57,965,000	1,386,000	
1 財団管理運営補助金収入	4,916,000	5,054,000	5,054,000	-138,000	＼
2 文化事業補助金収入	42,964,000	42,954,000	42,954,000	10,000	＼
3 文化活動等助成事業補助金収入	8,771,000	9,957,000	9,957,000	-1,186,000	＼
4 運営管理補助金収入(自動車購入)	2,700,000	0	0	2,700,000	＼
2 民間助成金収入	670,000	6,640,000	6,640,000	-5,970,000	
1 事業助成金	670,000	6,640,000	6,640,000	-5,970,000	
3 国庫助成金収入	0	0	2,000,000	-2,000,000	
1 国庫助成金	0	0	2,000,000	-2,000,000	
4 地方助成金収入	0	0	2,644,000	-2,644,000	
1 地方助成金	0	0	2,644,000	-2,644,000	
4 寄付金収入	10,000	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0	
5 雑収入	334,000	1,386,000	1,386,000	-1,052,000	
1 雑収入	334,000	1,386,000	1,386,000	-1,052,000	
1 運営管理事業雑収入	41,000	41,000	41,000	0	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	230,000	1,282,000	1,282,000	-1,052,000	
3 まんが館事業雑収入	63,000	63,000	63,000	0	
当期収入合計 (A)	235,497,000	223,960,000	228,571,000	6,926,000	
前期繰越収支差額	22,431,409	21,887,529	21,887,529	543,880	
合 計 (B)	257,928,409	245,847,529	250,458,529	7,469,880	

資金収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)	備 考
		当初(B)	補正後(C)		
1 事業費支出	228,855,000	217,207,000	217,174,000	11,681,000	
役員報酬支出	2,090,000	2,141,000	2,141,000	-51,000	
給料支出	65,905,000	61,421,000	61,421,000	4,484,000	
手当支出	38,933,000	36,088,000	36,088,000	2,845,000	
貸金支出	0	0	0	0	
福利厚生費支出	23,744,000	21,260,000	21,260,000	2,484,000	
食糧費支出	795,000	643,000	638,000	157,000	
旅費交通費支出	3,886,000	6,132,000	6,132,000	-2,246,000	
通信運搬費支出	1,556,000	2,418,000	2,393,000	-837,000	
什器備品費支出	2,700,000	0	0	2,700,000	
消耗品費支出	3,169,000	3,393,000	3,391,000	-222,000	
修繕費支出	206,000	206,000	206,000	0	
印刷製本費支出	2,861,000	3,592,000	3,591,000	-730,000	
燃料費支出	106,000	106,000	106,000	0	
賃借料支出	9,289,000	7,233,000	7,233,000	2,056,000	
広告宣伝費支出	1,340,000	1,239,000	1,239,000	101,000	
保険料支出	474,000	408,000	408,000	66,000	
委託費支出	39,998,000	37,054,000	37,054,000	2,944,000	
諸謝金支出	13,267,000	17,397,000	17,397,000	-4,130,000	
租税公課支出	9,170,000	9,025,000	9,025,000	145,000	
負担金支出	8,862,000	6,756,000	6,756,000	2,106,000	
雑費支出	504,000	695,000	695,000	-191,000	
2 管理費支出	6,206,000	6,275,000	6,275,000	-69,000	
役員報酬支出	3,057,000	3,241,000	3,241,000	-184,000	
給料支出	610,000	571,000	571,000	39,000	
手当支出	936,000	913,000	913,000	23,000	
貸金支出	0	0	0	0	
福利厚生費支出	1,048,000	1,046,000	1,046,000	2,000	
食糧費支出	0	0	0	0	
通信運搬費支出	60,000	60,000	60,000	0	
消耗品費支出	69,000	69,000	69,000	0	
修繕費支出	4,000	4,000	4,000	0	
印刷製本費支出	13,000	12,000	12,000	1,000	
燃料費支出	4,000	4,000	4,000	0	
賃借料支出	128,000	65,000	65,000	63,000	
広告宣伝費支出	0	0	0	0	
保険料支出	93,000	100,000	100,000	-7,000	
委託費支出	107,000	105,000	105,000	2,000	
諸謝金支出	0	9,000	9,000	-9,000	
租税公課支出	3,000	3,000	3,000	0	
負担金支出	69,000	69,000	69,000	0	
雑費支出	5,000	4,000	4,000	1,000	
3 予備費支出	100,000	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	100,000	0	
当期支出合計 (C)	235,161,000	223,582,000	223,549,000	11,612,000	
当期収支差額 (A)-(C)	336,000	378,000	5,022,000	-4,686,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	22,767,409	22,265,529	26,909,529	-4,142,120	